

2020年4月、好生館のホームページを再々更新しました！



地方独立行政法人
佐賀県医療センター 好生館

SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN
SINCE 1934

TEL:0952-24-2171 FAX:0952-29-9390

文字サイズ: [小さく](#) [標準](#) [大きく](#)

検索

[ENGLISH](#) [中文簡体](#) [中文繁体](#) [한글](#)

〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地

[交通アクセス](#)

「来館者発熱トリアージ」から 「来館者検温等」に移行します。

新型コロナウイルスと戦う
好生館への支援



ご案内

受付時間:(月～金)
8:30～11:00

土、日曜日、祝日、年末年始
(12月29日～1月3日)は休診日
です。(急患については、救急
外来で対応いたします。)

外来担当一覧

手術支援ロボット

ダヴィンチ



→ 研修医の皆さんへのご案内

当館で初期臨床研修を希望される医学生の皆さん、および当館で専攻医(後期臨床研修医)として働くことを希望される研修医の皆さんへのご案内です。



→ 看護師の特定行為研修のご案内

当館では、看護師の特定行為3区分(7行為)の研修を2019年9月より開始いたします。



[来館される皆さまへ](#)

[診療部門のご紹介](#)

[医療機関の皆さまへ](#)

[好生館のご案内](#)

看護部

一人ひとりを
大切に



診療センター

チーム医療で
新たなステージへ



好生館
ライフサイエンス
研究所



「教育センター」を新設 ⇒ 臨床研修医募集!

- 診療科
- 診療センター
- 中央診療部門
- 診療支援部門
 - ▶ 薬剤部
 - ▶ MEセンター
 - ▶ 栄養管理部
 - ▶ 医療安全管理部
 - ▶ 医療情報部
 - ▶ 組織横断的医療チーム
 - ▶ 相談支援センター
 - ▶ 地域医療連携センター
 - ▶ 教育センター
 - ▶ 国際交流室
- 看護部門
- 事務部門

■ ご案内

外来診療受付時間:

教育センター

- センター業務案内
- 研修プログラム
- 研修体験記
- 研修医勉強会
- トレーニングサイト
- 募集について
- 病院見学のご案内
- 臨床研修Q&A

地方独立行政法人 佐賀県医療センター 好生館

医師の第一歩を 好生館でスタートしませんか?

臨床研修医募集!



2019.4.1 採用 初期臨床研修医の皆さん

2020.4.1 採用 初期臨床研修医の皆さん

連絡先：〒840-8571

佐賀県佐賀市嘉瀬町大字中原400番地 佐賀県医療センター 好生館
総合教育研修センター（教育センター内） 宗田、瀬上、藤田

Tel：0952-28-1206（直通） E-mail：kyoikucenter@koseikan.jp

「教育センター」は、平成28年4月に新しく再編成された部署であり、病院支援部門の一翼を担っています。従来、院内職員の採用、新人教育、各種の研修および生涯キャリア支援などを担ってきた教育部門を再編し、看護師部門に加えて初期臨床研修部門および後期臨床研修部門にも各々、“専任”の担当者を配置しました。この結果、教育センターの人員は、3名から6名に増員されました。好生館に勤務する職員ひとりひとりが、

「教育センター」⇒ 臨床研修Q&A, 研修体験記

■ 診療科

■ 診療センター

■ 中央診療部門

■ 診療支援部門

▶ 薬剤部

▶ MEセンター

▶ 栄養管理部

▶ 医療安全管理部

▶ 相談支援センター

▶ 地域医療連携センター

▶ 教育センター

▶ 国際交流室

■ 看護部門

■ 事務部門

■ ご案内

外来診療受付時間:
(月～金)8:30～11:00

教育センター

→センター業務案内

→研修プログラム

→**研修体験記**

→研修医勉強会

→トレーニングサイト

→募集について

→病院見学のご案内

→臨床研修Q&A

研修体験記(先輩からのメッセージ)

佐賀県医療センター好生館では、多くの方が研修に励んでいます。臨床研修医の方の研修体験記、実際に研修を受けているスタッフの生の声を紹介しています。

当館で研修を受けた先輩たち



平成16年度採用研修医の皆さんの集合写真です。
(写真の前列中央は藤田尚宏救命救急センター部長)



平成17年度採用研修医の皆さんの集合写真です。

初期臨床研修をするなら、“九州一の穴場病院” 好生館で！

■ 先輩研修医からの病院紹介と、この病院を選んだ理由 最も評価が高かった記事

医師として働き始める最初の病院を選ぶ基準は何でしょう。私は、父に「働ける医師になれ。若いうちは、望んで忙しい病院に行った方がいい。」と勧められたのが、好生館を選んだきっかけでした。見学に行った際に、先輩方に「この病院は、九州の穴場だよ！」と言われ、好生館を非常によく表していると思いました。これだけ研修医を一人の医師として尊重してくれて、たくさんの手技と症例を経験できて、自覚と責任感を育ててくれる病院は少ないと思います。しかしながら、割と知名度が低いので、他の人気な研修病院より競争率が低いと思います。

よく見学に来る学生さんから質問があるのは、総合当直の制度です。救急車以外の休日・夜間外来の患者さんは、研修医が診察します。まず自分が対峙することで、自然と意欲と責任感が湧いて、それがやりがいにも繋がります。その他の病棟業務も、研修医が担当医として治療方針を立てることができます。もちろん指導医に相談することは可能なので、心配しなくても大丈夫です。

好生館の利点は、指導医の先生方が研修医を熱心に指導して下さること、看護師さんや検査技師や放射線技師などのコメディカルスタッフがとても協力的であること、患者さんの人柄がいいこと(地域性だと思います)などがあげられると思います。私が実際に研修してみて感じたこととしては、モチベーションが高い人が集まってきているということです。研修医も指導医も「なんとなく働いている」という人は一人もいません。目標とライバルに囲まれて、切磋琢磨しながら研修できるのは人生の宝物になると思います。百聞は一見にしかず。まずは見学にいらしてくださいね。

H26年⇒17名, H27年⇒13名, H28年⇒20名,
H29年⇒18名, H30年⇒20名, R1年⇒13名分をアップ!

■ 理事長のごあいさつ

■ 館長のごあいさつ

■ 病院経営

■ 研究

先輩研修医の
本音が聞けますヨ

研修体験記(先輩からのメッセージ)

■ 2019年度

好生館の「研修体験記」は、アクセス数が多いコーナーでありまして、研修医の先輩たちの“生の声”が聞けますヨ。

▶ [2020年03月 野田 亮介](#)

▶ [2020年02月 山崎 温詞](#)

▶ [2020年01月 貞島 健人](#)

▶ [2019年12月 佐々木 康作](#)

▶ [2019年11月 朝長 礼音](#)

▶ [2019年10月 古川 舜理](#)

▶ [2019年10月 栗林 佑理恵](#)

▶ [2020年03月 尾藤 大輔](#)

▶ [2020年02月 古森 広輝](#)

▶ [2020年01月 川添 夕佳](#)

▶ [2019年11月 越智 彩](#)

▶ [2019年11月 野内 友三郎](#)

▶ [2019年10月 山口 修輝](#)

■ 2018年度

ちなみに、検閲(赤ペン先生)は、していません。(^-^)

▶ [2019年03月 今嶋 堯志](#)

▶ [2019年01月 泊 健太](#)

▶ [2019年01月 横山 博毅](#)

▶ [2018年11月 生草 淳](#)

▶ [2018年11月 外山 沙也加](#)

▶ [2018年11月 吉山 大貴](#)

▶ [2018年10月 池内 理一郎](#)

▶ [2018年10月 末次 希](#)

▶ [2018年10月 溝田 将吾](#)

▶ [2018年10月 野田 麻里沙](#)

▶ [2019年02月 永田 絢子](#)

▶ [2019年01月 長澤 功多](#)

▶ [2018年12月 矢部 恵士](#)

▶ [2018年11月 村山 美和子](#)

▶ [2018年11月 山里 優香子](#)

▶ [2018年10月 松尾 彰信](#)

▶ [2018年10月 城島 昂太](#)

▶ [2018年10月 大家 さつき](#)

▶ [2018年10月 鶴田 浩太郎](#)

▶ [2018年09月 星野 健](#)

▶ 病院見学のご案内

▶ **研修体験記**

■ 病院広報誌一覧

■ 館内マップ

■ 館内緑化エコロジー
ガーデン

■ ご案内

好生館での研修 ⇒ 先輩たちの体験記から ①

2014年3月 村山 僚



好生館での研修生活も2年が過ぎようとしています。2年前の国試合格後の春休みは、ちゃんと研修医をやっていけるかなという安と、2年間の研修医という時間をがんばってこうという意気込みの入り混じった複雑な心境で過ごし、好生館での研修がスタートしました。不安混じりの心境でスタートした好生館での研修ですが、2年後の今、すっかり病院には慣れ、この体験記を書きながら2年間の分の成長を思い返し、まだまだ未熟ではあるものの、研修医として2年間に確かな充実感を感じている次第です。

好生館では研修システムの特徴として、フレキシブルに好きな期間、研修したい診療科を選択しローテート研修することができること(他院同様、一部必修の診療科はあります)、一次～三次救急まで

すべてを経験できる救急外来がまず挙げられます。

救急外来では救急対応の他、学生ではそう多く学ばない症候学、プライマリケアの研修を学ぶことができます。救急外来は屋根瓦方式をとっており、学年の近いドクターと一緒に診察をしますので、わからないことはいくらでも質問がしやすい雰囲気です。一緒に考えてくれる上級が後ろについてくれるのは医師人生のうちの若いうちだけだと思えば、若いうちから経験をたくさん積める好生館の研修システムはありがたいものなのではないでしょうか。

その他、好生館には熱心な指導医、親切的なコメディカルの方々に加え、モチベーションの高い同期の研修医が多いのが特徴です。研修を独りで頑張るのと比べると、仲間と情報交換したり、今後の進路について語り合っ刺激を受けたり、時には仕事の愚痴をこぼしたりしながら、過ごしていくのとでは研修のやる気に大きな差が出てくるはずですよ。

2年間の研修の成果は、良い研修病院のシステムと、自身の向上心との掛け算ではないかと考えています。どちらが欠けても研修の良い成果は得られない。そう考えると、好生館での研修は良い選択だった、後輩にもそうやって胸を張って紹介できる研修病院であると思います。

最後となりましたが、充実した研修を送ることができたと思えるのは、好生館の研修指導医の先生方、優しく親切に診療を導いてくれるコメディカルの方々、同期の研修医に恵まれたからだと感じています。ありがとうございました。

2016年11月 郭 強(GUO QIANG)



初期臨床研修医2年目の郭強(中国医科大学出身)です。

日本に来てから4年目であり、好生館で2年間研修を行う「基幹型プログラム」で研修をしています。

好生館に初期臨床研修医として採用される前は、伊万里の山元記念病院で外国人臨床研修医として勉強しながら日本の医師国家試験の準備をしていました。

その時、地域医療研修のために好生館から山元記念病院に来ていた研修医たちと知り合いました。皆、素晴らしい研修医だと思いつつ、自分も将来は好生館で研修できれば良いと考えました。

2015年、日本の医師国家試験に受かり、マッチングの結果、好生館での研修が決まり勉強を始めました。

好生館は、患者さんの人数や重症疾患の割合が多く、研修生活のリズムは速いです。外国人として「言葉の壁」もあり、最初はとてつとつと感じました。

それが重なり、好生館での研修はほんとに自分に合っているのかどうか、迷い、悩みました。研修を開始して4ヶ月目の時に「逃げた方が良くないか」とも考えました。総合教育研修センター長の藤田先生に自分の悩みを相談したところ、藤田先生は私の立場として、好生館での臨床研修のメリットとデメリットを熱心に話されました。そして、今の自分のレベルに合うようにローテーションの順番など研修計画を調整してもらい、好生館での研修を継続するようになりました。

きつい時に周りの職員の方や同級の研修医たちにサポートしていただき、だんだん好生館の臨床研修に慣れてきており、すごく勉強になりました。

今年の9月に、地域医療研修の一環として山元記念病院に戻って研修した時に、理事長から、私の医学の知識も日本語のレベルも研修する前より良くなっていると評価してもらい、嬉しかったです(実際は同級の研修医たちよりまだ差があるけど)。

毎日の充実した研修のためか時間が速く、知らないうちに好生館に来てから1年間半が経ちました。

現在、私は、初期研修に好生館を選択して本当に良かったと思っています。

「良い研修病院」は、人によってそれぞれですが、好生館なら研修医を大事にされ、自分のレベルに合わせて研修計画を適切に調整してもらえるのは、メリットの一つだと思います。それで、好生館の研修を皆さんに勧めます。

長文となりましたが、最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

好生館での研修 ⇒ 先輩たちの体験記から ②

2018年1月 前田 裕美子

2017年8月 中原 達秀



こんにちは、研修医2年目の中原 達秀です。私は、好生館を基幹型臨床研修病院に選択し2年間のローテートを行っております。

私は出身地が宮崎で、出身大学が佐賀大学ということで、研修先を考える際に宮崎に帰るか佐賀に残るか、とても悩みました。しかし実際に好生館での実習を経験し先輩方の研修している姿を見て、「宮崎か佐賀か」ということを抜きにして、「この病院で研修生活を送りたい」と考えるようになり、現在に至っております。

私がこの病院での研修を選択した大きな理由は、2つあります。

1つ目は、総合当直を経験できるということです。

好生館の総合当直は「屋根瓦形式」という、2年目以上の上級医と2人組で時間外外来を経験することができます。教科書的に知っている疾患でも、実際に外来で診ると診ないのでは、雲泥の差があります。実際に外来をしてみるとわかりますが、問診や臨床所見から何を鑑別にあげ検査をオーダーするのか、何を処方するのか、その後のフォローをどうするのか等、わからないことが数多くあります。最初はできないことだらけですが、上級医の方と1対1で話し合いながら経験を積みながら、学び実践することで自分のできることの「幅」が増えていくのを実感できます。

2年目になれば、自分が先輩に指導しながら診療を行うという経験をすることもできます。自ら検査・治療を行わなければならないので、ローテート中の各科でも常に学ぼうという姿勢が身につく、とても有意義な研修ができています。

2つ目の理由は、研修棟に研修医医局があることです。

医局には自分専用のPC(電子カルテ端末)が設置してあり、日常業務や当直等でどんなに疲れていても、落ち着いてカルテ業務を行うことができます。

また、同期たちと同じ空間で過ごし、まじめに症例について語り合うこともあれば、時には打ち解けた話をしてみたりしつつ「研修仲間」と楽しい研修をすることができます。私はサッカーが好きで、研修医でフットサルチーム「FCラジックス」を結成し大会で優勝するなど休日も充実して過ごしています！是非、好生館で研修をスタートし、チームにも参加してください。

初期臨床研修も残り8ヶ月となりましたが、好生館を選択したことを1度も後悔したことはありません。医師のスタートをきる上で素晴らしい環境、先生方、仲間があなたを待っています。



初期臨床研修医2年目(基幹型)の前田 裕美子です。

私は、大学6年生で研修病院を決める時期には、はっきりとは将来進みたい診療科を決めていませんでした。診療科が多く、比較的自由に研修のカリキュラムを組める病院がいいな、と思っていましたが、それを売りにしている研修病院は数多くあり、迷っていました。

焦った6年生の夏に、大学の先輩方に勧められたこともあり、とりあえず見てみようと思って、好生館の病院見学を申し込みました。

病院見学では、カリキュラムの説明や、いくつかの診療科を実際に見学する時間があります。しかし私が見学の中で一番印象に

残ったのは、職員のみなさんがすれ違うときに笑顔で気持ちのよい挨拶をされていたことでした。この病院なら、忙しい研修で辛いことがあっても、前向きな気持ちで頑張ることができるのではないか、と思いました。

実際に働いてみると、最初は慣れないことばかりで大変でした。カルテ記事一つ書くのにも長い時間がかかり、採血するのにも緊張して手が震えて、情けない気持ちになることも多かったです。研修医の同期が来るまで待つのは辛いのもありますが、先輩のサポートのおかげで乗り越えることができました。

しかし、先生方の熱心な指導、スタッフの方々からの励ましのおかげで、私も少しずつ成長することができたかなと思います。

研修医の仲間という時間は長く、楽しいことも辛いことも分かち合い、お互いに刺激し合える大切な存在となりました。

真面目な話ばかりになってしまったので、研修以外の生活の話も少しします。

私は大学時代には福岡市内でアーバンライフ？を謳歌していたので、佐賀県は田舎だし暮らすのが大変そう...と思っていました。しかし実際に住んでみると、日本最大規模を誇るゆめタウンには車で20分で行けるし、院内には夜12時まで開いているローソンがあるし、と意外と便利に楽しく暮らしています。

院内の窓から見る景色はほぼ田んぼですが、季節によって表情を変える美しい風景です。患者さんとのんびり外を眺めていると、とても心が安らぎます。バルーンフェスタの時期にはたくさんの方のバルーンが西側の窓から見えて、インスタ映えする写真が撮れました。

さらに、佐賀は佐賀牛をはじめとして食べ物もとても美味しいです。美味しいパフェ屋さんも多くて驚きました。研修を終える前に、佐賀グルメをもっと堪能しなければ、と思っている今日この頃です。運動もしなきゃなああと頭ではわかっているのですが...

最後になりますが、研修をしていく中で、女性の様々な悩みに寄り添える産婦人科医になりたいと思うようになりました。目標に向かって、これからも一つ一つのことに丁寧に取り組んでいきたいと思っています。

最後まで読んでいただきありがとうございました。

是非、見学にいらっしゃってください。

好生館での研修 ⇒ 先輩たちの体験記から ③

2018年9月 星野 健



初期臨床研修医2年目(基幹型)の星野 健です。

私は佐賀大学を卒業して、この好生館の基幹型プログラムに応募しました。

私がこのプログラムを選択した理由は2つあります。

1つ目は、単純に佐賀大学に近かったことです。すぐ短絡的な理由ですが、医学部6年生の国家試験後は卒業旅行や医師免許申請費、国家試験費、ビデオ講座代、新生活への準備費などお金が必要であり、引越などにお金や手間をかけたくなかったというのがあります。

2つ目は、単純に雰囲気が好きだったというのがあります。佐賀大学の方や病院見学に来られた方はおわかりになるかもしれませんが、好生館では接遇が日常的に行き交っており、とても気分良く仕事ができます。また、先生方も総じてやさしくかっこい方が多いというのも、この雰囲気をつくっている一因だと思います。

さて、何とか国家試験・入社試験をくぐり抜け好生館で実際に働き出した私でしたが、働き出した当初、日なれないことばかりで戸惑っていました。採血一つとっても道具の用意に時間がかかり、血管探しにも肝がかり、苦労して血管にあてても抜けてしまったりして、焦って汗をかき、へたくそに採血をされて嫌いな患者さんにまで心配される始末でした。

しかし、研修医の同期が練習台になってくれたり、上級医の方々にご指導いただいたりして何とか研修続けられています。

生活に関しては、非常に安くてきれいな宿舎があり、快適に研修生活を送れています。一長一短ありますが、医局の上に宿舎があるため自分の好きな時間に仕事ができたり、同期とご飯を食べたりできるのは素晴らしいところだと思います。1つ短所をあげるとすれば、歩いて行ける距離に居酒屋がないことくらいですかね、……

最後になりましたが、もし初期臨床研修を好生館で考えている人がいれば是非、病院見学にいらしてください。ここには書ききれないことや紙面ではわからない好生館の良さがたくさんあります。

長文となりましたが、最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

2018年11月 外山 沙也加



初期臨床研修医基幹型2年目の外山 沙也加です。

私は佐賀大学を卒業後、2年間好生館を中心に研修する基幹型プログラムを選択しています。私は好生館の良い点について、大きく3つ紹介したいと思います。

まず1つ目は、他にも多くの先生が書かれていると思いますが、時間外に受診されるWalk inの患者さんを最初から診ることができるとです。私自身、じっくり考えて覚えるよりも、多くの症例を経験して体で覚えるタイプなので、年間を通して多くの時間外受診者がいる好生館は私に向いていると思いました。実際に(特に連休中や年末年始は)とても多くの患者さんがいらっやって、common

disease だけでなく、Walk inの大動脈解離や卵巣捻転など緊急を要する疾患の初期対応を経験することができました。初期研修医のうちからこれだけ多くの症例を経験できるのも当院の手厚いオンコール体制と、指導医の方々的確なご指導があるおかげと思っています。

2つ目は、基幹型といっても好生館以外で研修をしてはいけないというわけではなく、4ヶ月以内(地域医療研修の1ヶ月を除く)であれば、いくつかの関連病院から研修先を選択することができますという点です。ずっと同じ病院だけでの研修だと不安という方にも、基幹型のプログラムをうまく活用していただければ、自分の希望に近い研修ができると思います。実際に私も、佐賀大学で2ヶ月、嬉野温泉病院で1ヶ月、唐津済生会病院(地域医療研修)で1ヶ月お世話になりました。

最後に、スタッフの方々が優しいという点です。研修医なりたての時期は、病気に関してはある程度知識があっても、薬の形状や、X線の撮影方法や、食事の種類など、わからないことだらけでした。薬剤師さんが「この方にこの薬だと大きすぎて飲み込み辛いので、細粒が良いと思います。」とアドバイスして下さったり、放射線技師さんに「この方、左手を回内できないのですが、どうオーダーしたら見やすいですか?」と尋ねると丁寧に教えてくださったり、栄養士さんに患者さんの食事のことに気軽に相談できたりと、研修医の気軽な質問にも丁寧に答えてくださるスタッフの方が多いらっやり、好生館の医療は、まさにチーム医療だと実感しています。

月1の研修医飲みがあって同期とすぐ仲良しとか、研修医だけの医局と個別のデスクがあって仕事しやすいとか、寮が病院の隣で一長一短だとか、他にも書きたいことは多くありますが、その辺は他の研修医が書いてくれていると思います。特に3つ目の良い点に関しては、実際に見学にいらっやってくださった方がわかります。

好生館での研修 ⇒ 先輩たちの体験記から ④

2018年11月 吉山 大貴



初期臨床研修医2年目の吉山 大貴です。
佐賀大学の「たすき掛け」プログラムで1年目は佐賀大学付属病院で研修し、2年目現在は好生館で研修をしています。

佐賀大学も好生館も研修先として魅力的で、どちらを選択するかギリギリまで悩んでいました。最終的に両病院を選んだ理由は、先輩・先生方の話を伺っていると両方とも長短所があると感じたからです。どの病院を選んでも全てを兼ね備えていることはないと考え、メリットデメリットの幅が少ない両方の病院での研修を選択しました。

好生館に来て驚いたのが、研修環境の充実です。研修医の医局があり、研修医それぞれに1台ずつデスクとカルテがあるのはとても過ごしやすいです。各科の業務で困ったことがあっても医局に戻れば誰かに聞いてすぐに解決することができ、ストレスフリーに働くことができました。研修期間は2年間で、各科短ければ1ヶ月で終わってしまいます。雑務に悩む時間は短い研修期間に勿体なく、その時間を短縮して医学的知識の習得に時間を割けるのはメリットだと思います。

特に、最近研修先として好生館が人気です。こちらに移ってきてその人気なわけは肌身で感じました。各科の先生方が指導に熱く、また隔週の研修医同士の勉強会、総合当直プログラムなど病院全体としての指導体制があり、指導しようという雰囲気があるのは研修医にとって有難い環境と感じています。なかでも、教育担当の藤田先生がとても熱心で、常に、引くぐらい研修医のためにご尽力頂いています。あまりこういうことを書いてはいいかわかりませんが、藤田先生がいらっしゃることが好生館の人気に繋がっていることは間違いないと思います。笑

研修生活では楽しいことがたくさんですが、時に辛いこと、苦しいこともあります。そんな時は**研修医の医局に戻れば悩みを聞いてくれる同期が誰かいつもいました。医局という帰れる場所があるのは、とても大きかったです。悩みを聞いてくれた上に、中には夜遅くまで頑張っている同期もいて、メンタルの支えとなる場所であるとともに同期の頑張る姿を見て刺激をもらえる場所にもなっていました。**研修医の医局にいると自然と前向きに仕事に向かえるのは大きな魅力です。

最後になりますが、たくさんの同期・先輩方が体験記に記しているように、好生館は研修先として皆さんの期待を裏切りません。**特に熱心な研修医ほど好生館が向いている気がしています。**

一個人の意見ではありますが、今回の体験記が研修先に悩んでいる方の少しでも助けになれば幸いです。今後一緒に働く機会があれば、好生館で培ったことを次来られる先生方に伝えることを楽しみにしております。

2019年10月 栗林 佑理恵



基幹型研修医2年目の栗林 佑理恵と申します。私が好生館での研修で感じた、好生館研修の「おすすめポイント」を以下にご紹介致します。

1. 指導医の先生方について

自分が希望する科がローアットしている科と違っても、将来役に立つような知識や技術を惜しみなく教えてくださる先生方がいます。そのあたたかみあるご指導に背中を押され、時には尻も叩かれて、充実した毎日をご過ごすことができました。自分のできることを1つでも多く増やし、いつも良くてくださる先生方の何か力になりたい、そう思えるような環境で自然とすくすく育つことができました。

2. 総合当直について

総合当直は、私が好生館研修を選んだ一番の理由でした。1つ上の研修医の先生方と、指導の先生の3人で行う総合当直は、1回1回が貴重な学びの場でした。はじめのうちは便秘薬の処方できないような私でしたが、経験を重ねるごとにできることが増えていき、日々の研修のモチベーションにもつながりました。学生のうちは当直と聞くとかなりの恐怖を感じてしまいましたが、実際は指導の先生やハッピーアップのおかげで安心して診療ができますし、自分の成長を感じることができ、2年目となった今では毎回の当直が楽しみになっています。

3. 研修医医局で過ごす毎日について

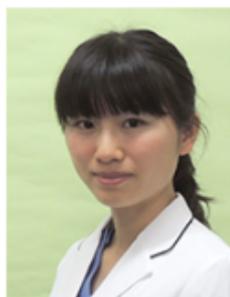
何よりのおすすめポイントは、この研修医医局かと思えます。好生館の研修医医局は1人1台の電子カルテとデスクが準備されていて、冷暖房完備、お掃除もしてもらえ、申し分ない環境です。そんな素敵な職場の中で、同じくらのモチベーションで切磋琢磨し合える同期や、憧れであり明確な目標でもある先輩方、好奇心と向上心を武器に突き上げてくれる後輩達に囲まれながら、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。わかずなかつたこと、できなかったことがあって落ち込んでいても、いつでも話を聞いてくれて、一緒に問題を解決しようという雰囲気があり、この医局があったから乗り越えられたことや経験できたことがたくさんありました。

研修先を迷われている方や研修生活に不安を抱えていらっしゃる方々、1度この好生館へ見学に来られてみてはどうでしょう。初めての見学の方でもほっとできるような、あたたかい病院だと思います。

拙い文章でしたが、最後までお読みいただきありがとうございました。

好生館での研修 ⇒ 先輩たちの体験記から ⑤

2019年11月 越智 彩



基幹型研修医2年目の越智 彩と申します。

私が好生館を初期研修病院として選んだ理由は、大学6年生のときの実習で形成外科とリハビリ科を回った際に、いろいろさせていただいたからです。

好生館の魅力は、①指導熱心な医師が多いこと、②総合当直、③研修医医局に自分の机があることだと思います。

① 研修医担当の藤田先生をはじめ、好生館の各科の先生方はとても指導熱心で、手技もたくさんさせて下さり、毎日とても充実した研修を行っています。また、学会発表や論文の記載も研修医のうちに経験することができず。

② 総合当直は、月に4~6回あり(同期の人数による)、土日の日勤(8時半~17時15分)、平日・土日の準夜(17時15分~23時)、夜勤(23時~8時半)となっています。日勤・準夜は研修医1年目、2年目、上の先生の3人で屋根瓦式です。深夜は研修医1年目、2年目の2人ですが、困った際には救急当直の先生が相談に乗ってくれます。主訴は腹痛や頭痛、転倒、発熱など多岐に渡ります。採血や点滴、心電図、エコーなども自分でするので、上達すると思います。実際に自分で診察するので、文献で読むよりもかなり勉強になります。患者数も多く、総合当直は好生館の最大の魅力だと思います。

③ 研修医医局には、パソコン(電子カルテ)付きの個人デスクがあります。24時間使え、共通図書もたくさん置いてあり、勉強するのに素晴らしい環境です。仕事が遅く終わって疲れているときでも、医局にいると同期や後輩がいて、話していると疲れもぶっ飛びます。好生館の研修医は仲がよいと言われますが、この医局のおかげだと思います。

その他にも、内科を1ヶ月から回れること、1ヶ月に2回研修医勉強会があること、食堂がおいしいこと、病院がきれいなことも魅力だと思います。

最後になりますが、研修病院として好生館を選んで本当に良かったと思います。研修先を悩んでいる方は、ぜひ見学に来てみて下さい。

2019年10月 山口 修輝



研修医2年目の山口 修輝と申します。乱文ではありますが、研修病院を選ぶ上で少しでも参考になれば幸いです。

好生館の先生方は、自分が迷った時にはいつでも優しく教えていただける方ばかりです。自分が間違った時にも、改善点を明確かつ丁寧に指導いただけるため、本当に勉強になります。看護師さんや技師さん、薬剤師さんなどのメディカルスタッフの方々は、急なオーダーや処方にも関わらず迅速に対応していただけるため、いつも助けられています。また、研修医の数も多く、お互いにその日にあった出来事を話すのはとてもいい刺激になります。

さらに好生館では、自分が意欲的に取り組み、どこまでも深い知識や経験を得られる環境が整っています。日々の輸液や処方は、まず自分で考え、上級医と相談することが多いです。経験できる手技も多岐にわたり、挿管、CV挿入などの基本処置にとどまらず、内科では内視鏡・気管支鏡検査やカテーテル操作を経験できましたし、外科では執刀の機会もいただきました。研修という立場でありながらも、私たちが一人の医師として扱っていただける場面が多いように感じ、日々充実感を覚えながら仕事ができています。

しかし、そのことは裏を返せば、大きな責任を伴うことを意味します。時には、指導医が身近にいない状況で、患者さんの命運を左右するような決断を迫られることもあり、好生館で研修をすれば、『決断力』がとにかく鍛えられます。その最たるものが総合当直(ER時間外診療)と病棟からのCallです。前者に関しては、他の方の体験記でも綴られているため、私は後者に関して書こうと思います。

夜間や休日に病棟で何かあれば、多くの場合、ファーストコールは研修医にかかってきます。その内容としては、チューブが抜けた・患者さんが転倒した、といったトラブル系から、血圧が低い・激しい腹痛を訴えている、などの場合によっては緊急の処置を要するものまで、多岐に渡ります。どんな検査・初期対応が必要か、またどのように上級医につなげるかの判断がすべて自分に委ねられます。その責任は常に背負って、常に迷い、そして悔しさを感じます。

最初のうちはもちろん、一から十まで上級医の指示を仰いでいました。しかし、自分がうまく初期対応をして、スムーズに上級医につなぎ、患者さんが事なきを得る場面もあります。自分が経験・勉強したことが患者さんに還元できた瞬間であり、この上ない喜びを感じるとともに、医師になってよかったと感じる瞬間でもあります。

もちろん、毎日このようなことがあるわけではないですが、個人的には日々の研修以上に、こういった経験の方が、一生忘れない記憶として残った気がします。私は、このような素晴らしい環境で研修できていることを幸せに感じるとともに、誇りにも思っています。皆さんもここで研修すれば、きっとかけがえのない経験ができますよ。

最後に、私が医学部6年の時、マッチングで好生館に決まったことを上級医に話したところ、「いい病院を選んだね。好生館で研修した医者は一味違う。」と言われました。

充実した研修生活を送りたいという方は、是非一度見学にいらして下さい。

H30年 ER統計 : Walk-in患者と重症度

救急車受け入れ台数内訳						ドクターヘリ受け入れ台数内訳					ウォークイン患者⇒入院の内訳				ウォークイン患者 1次患者と総数		
H30年	総数	1次	2次	3次		H30年	総数	2次	3次		H30年	2次	3次	合計 (入院)	1次	ウォーク イン総数	救急外来 患者総数
				救命	ICU				救命	ICU							
1月	281	88	67	119	7	1月	3	1	1	0	1月	73	14	87	873	960	1244
2月	238	72	67	83	16	2月	6	0	6	0	2月	67	18	85	620	705	949
3月	253	80	70	91	12	3月	3	1	2	0	3月	59	18	77	589	666	922
4月	229	64	84	73	8	4月	5	2	2	1	4月	74	7	81	553	634	868
5月	225	91	60	61	13	5月	4	1	3	0	5月	83	11	94	673	767	996
6月	219	80	65	64	10	6月	4	0	2	1	6月	65	18	83	515	598	821
7月	266	88	70	95	13	7月	8	1	6	0	7月	117	16	133	763	896	1170
8月	258	96	78	70	14	8月	9	1	5	3	8月	73	12	85	823	908	1175
9月	248	95	74	72	7	9月	8	1	5	1	9月	92	20	112	820	932	1188
10月	259	77	73	93	16	10月	4	0	3	1	10月	82	14	96	644	740	1003
11月	235	72	78	73	12	11月	4	1	3	0	11月	60	23	83	613	696	935
12月	260	99	71	80	10	12月	6	0	3	2	12月	80	17	97	765	822	1128
合計	2971	1002	857	974	138	合計	64	9	41	9	合計	925	188	1113	8251	9364	12399

※ 2018年のER受診患者のうち **25.3%**が入院、救急車搬送患者のうち **66.3%**が入院となった。Walk-in患者のうち **2.01%**が3次急患だった。

【 3141 ÷ 12399 】

【 1969 ÷ 2971 】

【 188 ÷ 9364 】

【好生館のERの現況調査】

- 2018年度の全ER受診患者12,399名のうち、**救急車搬送患者は2,971名(24.0%)**を占め、そのうち1,969名(66.3%)が入院していた。一方、walk-in患者9,364名のうち、1,113名(11.9%)が入院となっていた。うち、3次救急(救命・ICU入院)は、188名(**2.01%**)だった。
- 2019年度も walk-in患者 9,814名のうち、210名(**2.14%**)が 3次急患。walk-in患者の50名に1名は重症患者が潜んでいた。
- 研修医間で 知識の共有の場 が必要だろう。